

令和3年度 全国学力・学習状況調査の状況報告

清秋の候、保護者の皆様におかれましては、ご健勝にてお過ごしのことと存じます。日頃は、本校の教育諸活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、5月27日(木)に実施した「全国学力・学習状況調査」の状況を報告します。この結果を、本校生徒の教育に生かしていきたいと考えています。なお、この調査は3年生を対象にしたものであり、国語、数学の2教科について調べたものです。生徒の全ての学力や生活の様子を表しているわけではありません。

1 生徒質問紙（アンケート）から分かる特徴や傾向

生徒が「当てはまる」「どちらかという、当てはまる」と回答した割合が高かった質問項目は次のとおりです。

- ・「朝食を毎日食べていますか」「毎日同じくらいの時刻に起きていますか」
- ・「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている」
- ・「人が困っているときは、進んで助けていますか」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」
- ・「今住んでいる地域の行事に参加していますか」

一方で、回答の割合が低調であった質問項目は、次のとおりです。

- ・「自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができますか」
- ・「学校の授業時間以外の勉強時間（1時間未満が約半数）」
- ・「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」
- ・「学級での話し合いを生かして今自分が努力すべきことを決めて取り組む」

2 各教科調査（学力テスト）本校3年生の特徴や傾向

	優れているところ	努力を要するところ
国語	<p>○「読むこと」の領域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する <p>○「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文脈に即して漢字を正しく読む <p>○「話すこと・聞くこと」の領域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの話題や方向を捉える <p>○「書くこと」の領域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書く 	<p>▲「話すこと・聞くこと」の領域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの話題や方向を捉えて話す内容を考える <p>▲「書くこと」の領域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書いた文章を互いに読み合い、文章の構成の工夫を考える <p>▲「読むこと」の領域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文脈の中における語句の意味を理解する ・文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつ
数学	<p>○「数と式」の領域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整式の加法と減法の計算ができる <p>○「図形」の領域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・扇形の中心角と弧の長さや面積との関係について理解している <p>○「関数」の領域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができる 	<p>▲「数と式」の領域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができる ・数学的な結果を事象に即して解釈し、事柄の特徴を数学的に説明することができる

3 本校の取組と家庭にお願いしたいこと

【本校の取組】

- ① 自らの考えをもち、人と関わり合う中で考えを深めたり広げたり、適切な方法で伝えたりすることができるよう、国語をはじめ全教科で指導法を工夫します。
- ② 数学では、個に応じた行き届いた指導ができるよう3年生で習熟度別少人数学習を行い、基礎学力の定着と発展的学習に取り組めます。
- ③ 学習した知識の定着と家庭学習の習慣を身に付けられるよう、計画的に学力充実学習に取り組ませると同時に、各教科授業の復習となる課題提示の方法を工夫します。

【家庭にお願いしたいこと】

ご家庭での子どもたちの規則正しい生活が、落ち着いた家庭生活や学校生活、人との関わりを大切にしようとする気持ちにつながっていると考えます。保護者の皆様をご家庭で子どもたちの生活を支えてくださっていることに感謝申し上げます。

子どもたちは優しい心をもっており、人の役に立てる人間になりたいと考えています。今後自らの力をさらに伸ばし、なりたい自分に近づいていけるよう、学習に前向きに取り組んだり、自分の考えを適切な言葉や伝え方で相手に伝えたりすることができるよう、ご家庭でもご配慮いただきますようよろしくお願いいたします。